

発熱等診療・検査医療機関の長様

兵庫県保健医療部感染症等対策室感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に
対応する外来医療体制について（協力依頼）

平素より、本県の新型コロナウイルス感染症対策につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が発生し、より多数の発熱患者が生じる可能性があることから、本県では、関係団体とも協議の上、新たに外来フェーズを設け、フェーズに応じた県民への呼びかけや外来医療体制の拡充の方策を実施し、医療ひっ迫の回避や体制の強化を図ることとしました。（別添資料をご参照ください）

発熱等診療・検査医療機関におかれましては、これまでも多大なるご尽力をいただいていることと存じますが、下記のとおり依頼させていただきますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

記

1 発熱等診療・検査医療機関への依頼事項

(1) 同時流行時の対応

外来フェーズでの流行期（※1）における医療ひっ迫回避のため、発熱外来の診療時間の延長や休日開院による診療能力の拡充等に、可能な範囲でご協力をお願いいたします。

（※1）外来フェーズにおける区分については、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザの患者数等を踏まえて県で判断し、県HP又はメール連絡により、お知らせする予定です。

（※2）流行期における、診療時間の延長や休日開院にご協力いただける発熱等診療・検査医療機関に対する支援についても、現在検討・調整を進めているところです。こちらにつきましては、詳細が決まり次第、改めてお示しする予定です。

(2) その他

抗原検査キットについて、一部の製品への発注が集中し、必要な場所で入手困難となることがないように、厚生労働省ホームページ（下記 URL）もご参照の上、各製品の在庫状況を踏まえて発注くださると幸いです。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000965928.pdf>

（問合せ先）

感染症対策課新型コロナウイルス感染症対策班

電話番号：078-341-7711（内線 3194、3191）

E-mail：kansentaisaku@pref.hyogo.lg.jp

事 務 連 絡
令和4年11月24日

一般社団法人 兵庫県医師会長
一般社団法人 兵庫県病院協会長
一般社団法人 兵庫県民間病院協会長

} 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制について（協力依頼）

平素より、本県の新型コロナウイルス感染症対策につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が発生し、より多数の発熱患者が生じる可能性があることから、本県では、関係団体とも協議の上、新たに外来フェーズを設け、フェーズに応じた県民への呼び掛けや外来医療体制の拡充の方策を実施し、医療ひっ迫や体制の強化を図ることとしました。（別添資料をご参照ください）

つきましては、内容についてご了知いただきますとともに、貴会員への周知について、ご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

また、引き続き、地域の限りある医療資源の中でも多数の発熱患者に対応し、必要な方に適切な医療を提供するため、管轄保健所等と連携いただきつつ、医療体制の強化にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、別添のとおり保健所及び発熱等診療・検査医療機関に通知していることを申し添えます。

事 務 連 絡
令和4年11月24日

病 院 局 企 画 課 長 様

保健医療部感染症等対策室
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制について（協力依頼）

平素より、本県の新型コロナウイルス感染症対策につきまして、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が発生し、より多数の発熱患者が生じる可能性があることから、本県では、関係団体とも協議の上、新たに外来フェーズを設け、フェーズに応じた県民への呼び掛けや外来医療体制の拡充の方策を実施し、医療ひっ迫や体制の強化を図ることとしました。（別添資料をご参照ください）

つきましては、内容についてご了知いただきますとともに、県立病院への周知についてご配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。

なお、別添のとおり県医師会等関係団体、発熱等診療・検査医療機関に通知していることを申し添えます。

事 務 連 絡

令和4年11月24日

政令市・中核市保健所長 様
各健康福祉事務所長 様
県立健康科学研究所長 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制について（協力依頼）

標記のことについては、今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が発生し、より多数の発熱患者が生じる可能性があることから、本県では、関係団体とも協議の上、別添のとおり、外来医療体制の拡充の方策を実施し、医療ひっ迫や体制の強化を図ることとしました。（別添資料をご参照ください）

つきましては多数の発熱患者に対応し、必要な方に適切な医療を提供するため、郡市区医師会と連携の上、医療体制の整備を進められるようお願いいたします。

なお、別添のとおり県医師会等関係団体、発熱等診療検査医療機関には通知していることを申し添えます。

事 務 連 絡
令和4年11月24日

各市町感染症対策担当部局長 様

兵庫県保健医療部感染症等対策室
感染症対策課長

季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症に対応する外来医療体制について（協力依頼）

今後、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が発生し、より多数の発熱患者が生じる可能性があることから、本県では、関係団体とも協議の上、新たに外来フェーズを設け、フェーズに応じた県民への呼び掛けや外来医療体制の拡充の方策を実施し、医療ひっ迫や体制の強化を図ることとしました。（別添資料をご参照ください）

つきましては、別添のとおり、保健所及び発熱等診療・検査医療機関に通知していますので、参考にお知らせします。

また引き続き、地域の限りある医療資源の中でも多数の発熱患者に対応し、必要な方に適切な医療を提供するため、ご協力いただきますようお願いいたします。

同時流行を想定した外来フェーズ及び方策（予定）

○ 同時流行に備え、外来フェーズごとに県民への呼びかけを実施するとともに、外来医療体制を強化

外来フェーズ 区分	感染警戒期 感染が落ち着いている状況から 感染者の増加傾向	感染拡大期 感染者の増加が見られ、 同時流行の兆しが見える状況	流行期 同時流行により医療のひっ迫が 懸念される状況
平均外来 患者数(※)	～約5,000人/日	約5,000人/日～	約9,000人/日～
県民への 呼びかけ	【事前準備の促進】 ①ワクチン接種の勧奨 ②基本的な感染予防行動の徹底 ③解熱剤、抗原検査キットの家庭 備蓄の呼びかけ	【重症化リスク別の行動喚起】 左に加えて、 高リスク者：速やかな受診 低リスク者：自己検査・自主療養の 呼びかけ	【重症化リスク別の行動の徹底】 高リスク者：速やかな受診徹底 低リスク者：自己検査・自主療養の 一層の呼びかけ
外来医療 体制	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間休日の対応準備 (地域の実情に応じた輪番制や臨時外来等の設置準備) ・発熱等診療・検査医療機関の拡大 ・発熱等診療・検査医療機関以外の医療機関でオンライン診療の検討 	左に加えて <ul style="list-style-type: none"> ・発熱等診療・検査医療機関の診療時間延長、休日開院準備 ・臨時外来の設置準備 ・夜間休日対応の段階的開始 ・発熱等診療・検査医療機関以外の医療機関でオンライン診療の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱等診療・検査医療機関の診療時間延長、休日開院（支援実施） ・臨時外来の設置（支援実施） ・発熱等診療・検査医療機関以外の医療機関でのオンライン診療

※ 目安となる平均外来患者数（日単位）は、各週の新型コロナウイルス患者とインフルエンザ患者定点報告より推計（毎週公表）
外来フェーズの外来患者数は目安であり、医師会等を通じて診療現場の意見も踏まえて切替予定

※ 上表の事項のほか、救急医療提供体制や夜間休日の対応薬局の強化、医薬品等の流通状況の確認等も実施予定

新型コロナ・インフル同時流行時の受診見込と診療能力

(参考)

今冬は、季節性インフルエンザとの同時流行も想定され、発熱患者の増加が懸念される

新型コロナ(1万9千人)とインフル(1万5千人)で、県内で1日最大3万4千人の患者が見込まれる

- ① 新型コロナ・インフル同時流行時は、医療機関の受診を重点化しても
外来受診見込は、1日最大2万5千人(自己検査率95%)~2万9千人(自己検査率50%)と想定
 - 重症化リスクの高い患者や小学生以下の子ども患者は、発熱外来等に受診
 - それ以外の低リスク者等は、抗原検査キットで自己検査(症状が重いと感ずる場合は、受診)
- ② 発熱外来(約1,800箇所)の**診療能力推計**では、**1日平均2万4千人**(1時間あたり4人診療試算)
⇒ピーク時には外来受診見込と診療能力に、5千人/日の差分(不足)が生じる見込み

感染状況に応じた同時流行時の外来受診イメージ

